

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

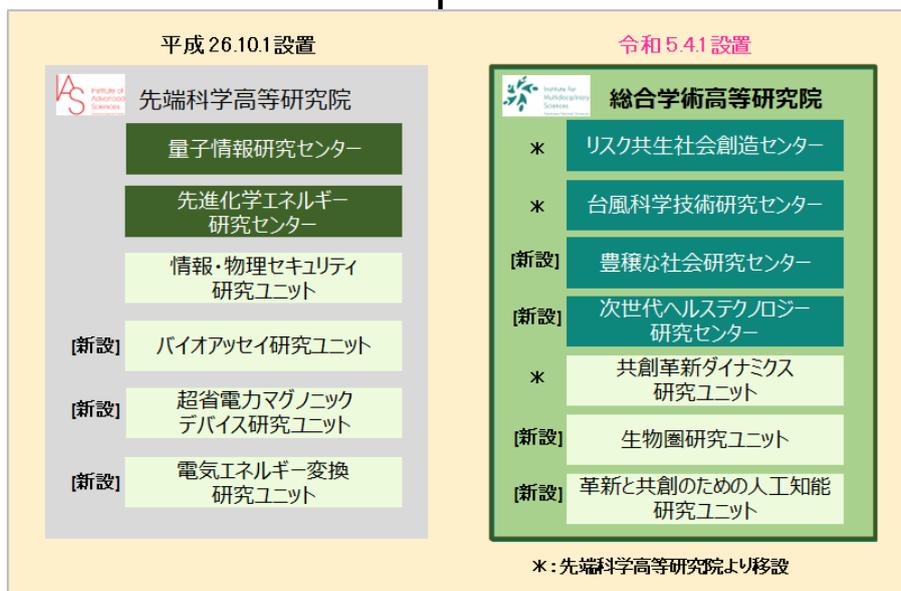
ビジョンドリブンな研究により、社会的インパクトの創出へ

## 新たに「総合学術高等研究院」を設置

学長をトップとする本学2つめの高等研究院の誕生

横浜国立大学は、2023年4月1日、ワンキャンパスである本学の強みを活かし、学部や大学院の枠を超え、様々な分野の研究者が集結した研究組織として“総合学術高等研究院”を設置しました。総合学術高等研究院（Institute for Multidisciplinary Sciences（略称：IMS））は、分野横断型の世界水準の総合学術研究を戦略的に集約し、研究に特化した組織です。リスク共生社会創造センター、台風科学技術研究センター、豊穡な社会研究センター、次世代ヘルステクノロジー研究センターの4つのセンターのほか、共創革新ダイナミクス研究ユニット、生物圏研究ユニット、革新と共創のための人工知能研究ユニットの3つの研究ユニットを形成し、多様性の強化を図り、社会貢献や社会共創を強く意識した研究を進めていきます。IMS新設に伴い、新たな社会課題に対応する技術要請を反映し、本学1つめの高等研究院である先端科学高等研究院（Institute of Advanced Sciences（略称：IAS））の研究ユニット再編を行い、若手の先鋭研究者リードの体制に刷新し、世界水準の国際研究拠点となることで本学の研究力の一層の向上を目指しています。

### 高等研究院長（学長兼務）



### 高等研究院の組織体制図



Institute for  
Multidisciplinary  
Sciences  
Yokohama National University

総合学術高等研究院のロゴマーク

人をモチーフとしたデザインを組み合わせ、シンボライズしました。このロゴマークは人が集まりひとつになっていることから「多様性」「協調」「社会実装」を具現化しています。

- ・総合学術高等研究院 Web サイト  
<https://ims.ynu.ac.jp/>
- ・先端科学高等研究院 Web サイト  
<https://ias.ynu.ac.jp/>

本件に関するお問い合わせ先  
横浜国立大学 総合学術高等研究院 藤井  
TEL045-339-4439 FAX045-339-4280  
E-mail: ias-ims@ynu.ac.jp

## ■研究センター・研究ユニット紹介

### リスク共生社会創造センター：

社会としての「リスクとの共生のあり方」、「最適な調和のある受容のあり方」を模索しながら、安全安心の実現と活力のある社会の創造を目指しています。



### 台風科学技術研究センター：

日本初の台風専門研究機関として、台風災害リスクの低減による安全で生き活きとした持続的な社会構築への貢献、台風エネルギーの活用による脱炭素社会実現への貢献を目指しています。



### 豊穡な社会研究センター：

すべての人が与えられた資質と能力を活かし、生き生きと生活し、将来世代のために夢と希望を抱いて耕し続ける、豊かで稔りある社会、「豊穡な社会」を目指して、総合学術的かつ実践的な研究・教育を展開します。



### 次世代ヘルステクノロジー研究センター：

統合知による研究エビデンスに基づくヘルスイノベーションエコシステムを構築し、生活と医療・ヘルスケアを新技術開発・実践型研究で繋ぎ、移動・就労・居住を通して健康と幸せを実感できるイノベーションエリアを創造します。



### 共創革新ダイナミクス研究ユニット：

先端的知識や技術の社会実装による新たな社会価値を実現するために、組織内外にわたる知識や技術の移転・共有のメカニズムを明らかにするとともに、共創的革新（Co-innovation）を実現する産学官連携の戦略とマネジメント、そしてイノベーションのダイナミクスについて実践的研究を実施します。

### 生物圏研究ユニット：

気候変動や生物多様性の損失といった様々な課題の解決にむけ、自然の価値を最大限に活用するための科学的エビデンスを提供し、人間を生物圏の一部とみなした新たな自然と社会の関わり方を提示します。

### 革新と共創のための人工知能研究ユニット：

独自の人工知能技術を追求しつつ、様々な分野での人工知能技術の利活用を推進し、豊かな未来社会の実現に貢献します。